



英語圏における「新しい政治地理学」

- ・ 1950年代
 - ・ 国家の構成にかかわるいくつかの研究
- ・ 1960年代衰退
- ・ 1970年代復活
 - ・ 公民権・ベトナム反戦運動など国内外の政治・社会情勢
- ・ 1980年代再興
 - ・ その背景となる国際情勢

2

冷戦地政学

- ・ 冷戦期のアメリカ外交（戦略論）における地政学的概念
- ・ 封じ込め理論（1947～1980年代）
 - ・ 第二次大戦後の基本的対ソ戦略
 - ・ ソ連の「他者」化
 - ・ 対立の永続化と米軍の世界展開、第三世界介入
- ・ ドミノ理論（1947）
 - ・ 共産主義の拡散形容（地政学的イメージ）
 - ・ 実際の体制変革を単純化・歪曲
- ・ ヘンリー・キッシンジャーによる「地政学 geopolitics」使用
 - ・ 米ソ勢力均衡を表現

3

第二次冷戦の特徴

- ・ 1979～1985年（←1946～1953年）
- ・ ソ連アフガン侵攻、イラン革命、ニカラグア共産ゲリラ勝利
- ・ 世界政治の軍事指向化、米ソ対立の激化
- ・ アメリカの覇権低下
- ・ レーガン政権の対ソ戦略
 - ・ 伝統的冷戦地政学概念（ドミノ理論等）の復活
 - ・ 反共単独行動主義、核戦争遂行戦略

4

英語圏政治地理学の復興

- ・ *Progress in Human Geography*創刊号（1977年）からProgress Report
- ・ 1982年*Political Geography Quarterly*（現*Political Geography*）創刊
- ・ 1983年IGU（国際地理学連合）に政治地理関係グループ設立
- ・ 1985年Taylor著*Political Geography*刊行
 - ・ ウォーラステインの*世界システム論*をもとに政治地理学を体系化
 - ・ 世界経済（中心-周辺関係）から国際・国内政治の歴史的動態を説明
 - ・ 遺産（伝統地政学）評価から「新しい地政学」へ

5

新しい地政学（NEW GEOPOLITICS）

- ・ 研究スケールの拡大
 - ・ 国際関係に対する世界経済の構造規定性
 - ・ 伝統地政学と同様の視線と視野
- ・ 伝統地政学の「相対化」
 - ・ 伝統地政学の見直し
 - ・ 外交・軍事への応用ではなくその実証分析（脱Geopolitik化）
 - ・ 覇権国家への批判的視角

6

世界システム論 (1)

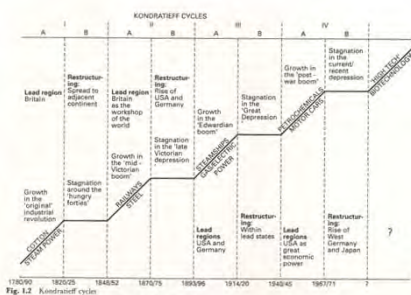
- ・ エマニュエル・ウォーラーステイン
- ・ 従属論 (中心-周辺関係)
- ・ 1960年代にブラジルで理論化
- ・ **中核 (core) と周辺 (periphery) からなる世界経済想定**
- ・ **周辺の立場は新旧の植民地主義によって負荷される**
- ・ **中核 = 発展、富の蓄積**
- ・ **周辺 = 低開発、富の喪失**
- ・ **周辺は中核の需要と政策に依存**



世界システム論 (2)

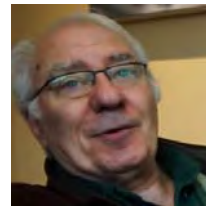
- ・ 世界システム = 一国を超えた分業システム
- ・ 互酬的なミニシステム、再分配的な世界帝国
- ・ 近代 (資本主義) 世界システム
- ・ 中心、周辺、**半周辺 (緩衝帯)**
- ・ 中心に**覇権国家**が一定の間隔で台頭・盛衰
- ・ 生産・流通・金融・文化で他国圧倒
- ・ 17世紀中頃 **オランダ**
- ・ 19世紀中頃 **イギリス**
- ・ 第二次世界大戦後 **アメリカ**

世界経済の変動と覇権国家の盛衰

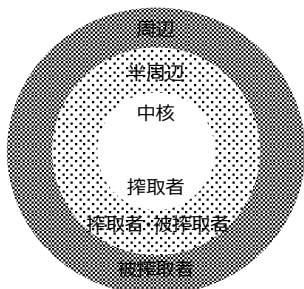


ピーター・テイラーの政治地理学 (1)

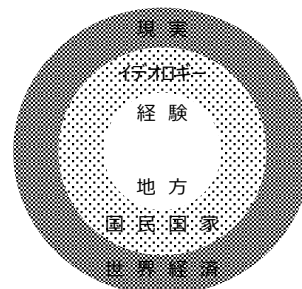
- ・ 世界システム論を国際・国内政治の歴史・地理的動態を把握する視角として導入
- ・ 近代世界システム = 世界経済と**国家間システム**
- ・ 純然たる国家の経済や政治はない!
- ・ **三層スケール** (後日詳述)
- ・ 冷戦後の**グローバル化**した世界に適合



中核・周辺・半周辺からなる世界



テイラーによる3つの地理的スケール



実証的な新しい地政学

- ・ 封じ込め政策の視覚化 (Nijman 1992)
- ・ 冷戦の終焉を伴う政治経済的リーダーシップの変化 (Grant and Nijman 1997)
- ・ 9/11直前の米国の戦略的重要地域 (Yamazaki 2006)
- ・ アメリカの外交政策、覇権の変容を解明

13

米ソ対立の地域的展開 (1948-88)

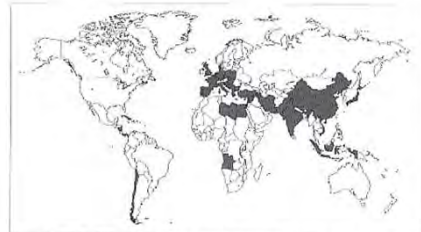


Figure 3.2 US-Soviet conflict: zones of most serious trouble, 1948-1988. (Adapted from Nijman 1992: 688)

14

アメリカの対外援助 (1987-93)

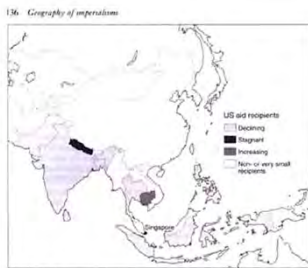


Figure 3.14 Trends in US bilateral aid to the Asia-Pacific region, 1987-93. From Grant and Nijman (1997). Reprinted by kind permission of the Association of American Geographers.

15

日本の対外援助 (1987-93)

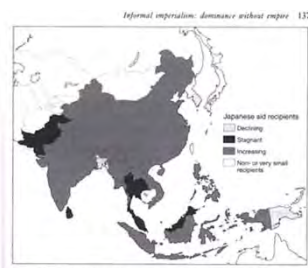
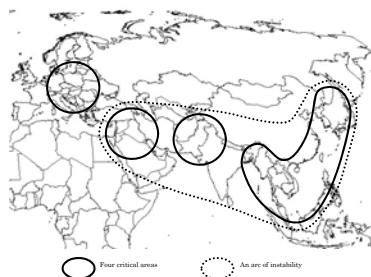


Figure 3.15 Trends in Japanese bilateral aid to the Asia-Pacific region, 1987-93. From Grant and Nijman (1997). Reprinted by kind permission of the Association of American Geographers.

16

米国『4年ごとの防衛見直し計画』における戦略的重要地域 (2001)



17

批判地政学

- ・ 国家の覇権性、国家間の権力関係を批判的に検討 (後日詳述)
- ・ ポスト構造主義、フェミニズム論、脱構築など社会理論に依拠⇔実証主義と対立・論争
- ・ 言説分析による権力関係の解明
- ・ 冷戦期の米ソ関係、アメリカ外交政策の検討
- ・ 伝統地政学、情報・メディア、大衆文化、環境安全保障

18

批判地政学の特徴

- ・ 保守的政治家・知識人の思想・言動
- ・ 世界を差異化して記述、自己と他者の図式
- ・ レトリックやイデオロギーによって物質的なレベルでの「事実」を誇張・歪曲→「現実」を構成
- ・ 周辺化された政治的主体（女性・サバルタン）の闘争・抵抗
 - ・ フェミニスト地政学
 - ・ 反・オルタナティブ地政学
- ・ ローカルな政治事象への適用

19

政治家の世界観

危機／恐怖の言説

状況の単純化

政策の正当化



20



21

ポスト911の地政学

- ・ AAG（全米地理学者協会）による米本土安全保障への貢献
 - ・ 対テロ戦争へのGIS活用
 - ・ テロ発生の政治経済的要因分析
- ・ アメリカの政治地理学者による研究
 - ・ リベラル・左派のポジション（cf. Cohen）
 - ・ 軍事地理学（military geography）の存在
- ・ 日本の場合
 - ・ 右派的観点からの地政学待望論（地政学ブーム）
 - ・ 政治地理学 = 応用・政策地理学？

22



<https://www.thoughtco.com/donald-trump-cartoons-4069703>

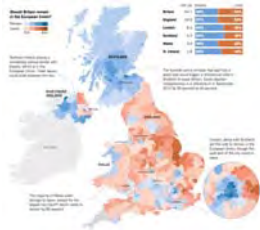
24

場所の政治（1）

- ・ 地理学における「場所」概念
 - ・ 地理的空間の一部、公式・非公式に社会関係やアイデンティティ（帰属意識）が形成される地理的環境（settings）
 - ・ 地理学における基本概念の一つ（後日詳述）
- ・ 「政治」とは（『広辞苑』より）
 - ・ 人間集団における秩序の形成と解体をめぐって、人が他者に対して、または他者と共に行う営み。権力・政策・支配・自治に関わる現象。
 - ・ 主として国家の統治作用を指すが、それ以外の社会集団および集団間にも適用できる。

場所の政治 (2)

- ・「場所の政治」とは
- ・グローバル/ナショナルな傾向に対するローカルな(ロカリティ)政治
- ・人々の社会生活の「場所性」によって形成される政治 (後日詳述)



<http://www.wildfiresearches.com/wp-content/uploads/2016/06/royalmsuri-vote-brexit-carte-populationdataset-1467214363kg48n.jpg>

25

新しい地誌学 (1)

- ・地誌学(地域地理学)の再構築
- ・空間分析批判(後日詳述)と場所の固有性(地域分化)の再評価
- ・伝統的地誌学(個性記述的)を社会理論に接合する
 - ・日常生活がローカルなレベルで再生産される過程 = 構造 (structure) と行為主体 (agent) の相互作用
 - ・時間地理学や構造化理論を介する

26

新しい地誌学 (2)

- ・ミクロなロカリティに注目
 - ・小さな町、農村の教区、労働者コミュニティ
 - ・経済的リストラクチャリング(資本主義の構造的プロセス) ↔ ロカリティ、リージョン、場所への影響
 - ・場所に展開する一般的/個別的过程
 - ・単なる個性記述ではない

27

政治地理学への影響 (1)

- ・ロン・ジョンソン
 - ・場所 = 地理学の中心概念
 - ・ノッチンガムシャー炭田の炭鉱労働者の運動
 - ・中央からのスト指令に抵抗
 - ・場所の政治として一貫性
 - ・個人や国家の政治に優先するその場所とコミュニティに固有の特徴を持つ



28

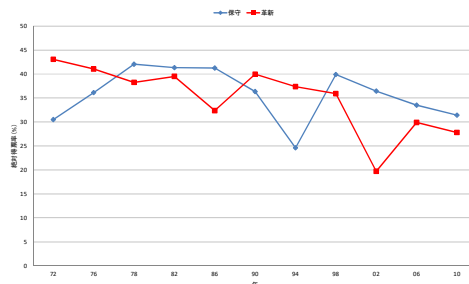
政治地理学への影響 (2)

- ・ジョン・アグニュー
 - ・近代化 → 全国化 = 政治・経済・文化面での国家領域の統合過程の中で場所の意義は消失
 - ・国家単位での平均値としてとらえられない地域性 = 場所
 - ・社会学、政治学、経済学 = 国家を分析単位、場所の存在を評価しない
 - ・場所を理解する三つの概念 = ローカル、ロケーション、場所の感覚



29

沖縄県知事選の絶対得票率(1972-2010)



30

